



50000-XMKB-KOSO FIT HYBRID SPORTS SUSPENSION

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

使用上の注意

1. 本製品の装着に際し、ローダウンを含めた仕様変更に伴いホンダセンシング等の運転支援システムの作動条件に影響を及ぼす可能性があります。予めご了承下さい。
2. サスペンションの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行ってください。

サスペンション脱着時、インパクトレンチは絶対に使用しないで下さい。

最悪の場合サスペンションの部品破損につながる場合があります。

サスペンションの取り外しに際してブレーキ関係の部品を外す場合、分解整備の対象となるため、認証工場にて交換作業をしてください。

本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。

3. 本製品の装着により車高が下がりますので（約15mm～）、縁石、駐車場の車輛止めおよび段差や凹凸路の通過時は、接地しないよう十分ご注意ください。
4. 本製品は、ホンダ フィット ハイブリッド FFモデル（GP5）への装着を目的として、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので装着したまま車検を受けられます。

ヘッドライトオートレベリングシステムについて

ディスチャージヘッドライト装着車には、車両の姿勢変化に応じて自動的にヘッドライトの光軸を最適化するオートレベリング機構が装備されています。本製品の組み込みにより設定車高が下がる為、専用機材のあるホンダディーラー等でヘッドライトの初期位置学習（本田技研工業㈱発行 FIT HYBRID サービスマニュアル 参照）を行ってください。この作業を行わないとヘッドライトの照射範囲が変わり夜間走行時の視界が十分確保できない場合があります。

5. 本製品の加工や分解、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
6. 経年変化等により、サスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11
株式会社 M-T E C 商品事業部 業務課

Tel. 048-462-3131 / Fax. 048-462-3121 【営業時間 10:00～17:00（土日・祝日除く）】

【仕様表】

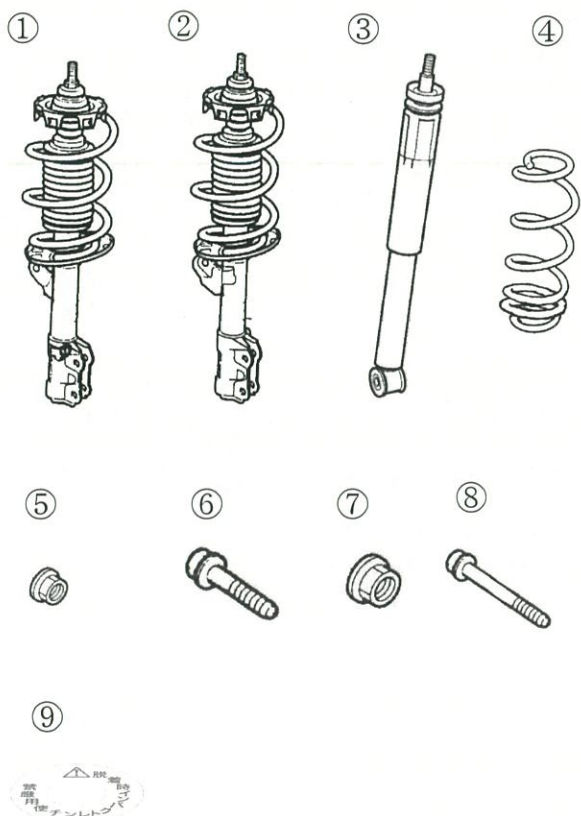
※車高は約 15mm～下がります。車輛の装備・仕様により変わることがあります。

	減衰力（スタンダード比） 0.3m/s 時；伸び側 / 圧縮側	スプリングレート N/mm	適合車種 [型式]
フロント	178% / 117%	k=21.0 (k=20.5)	フィット ハイブリッド [DAA-GP5]
リヤ	150% / 127%	k=21.0 (k=19.0)	

↑ () 内は STD

【構成部品内容】

キット品番 : 50000-XMKB-K0S0



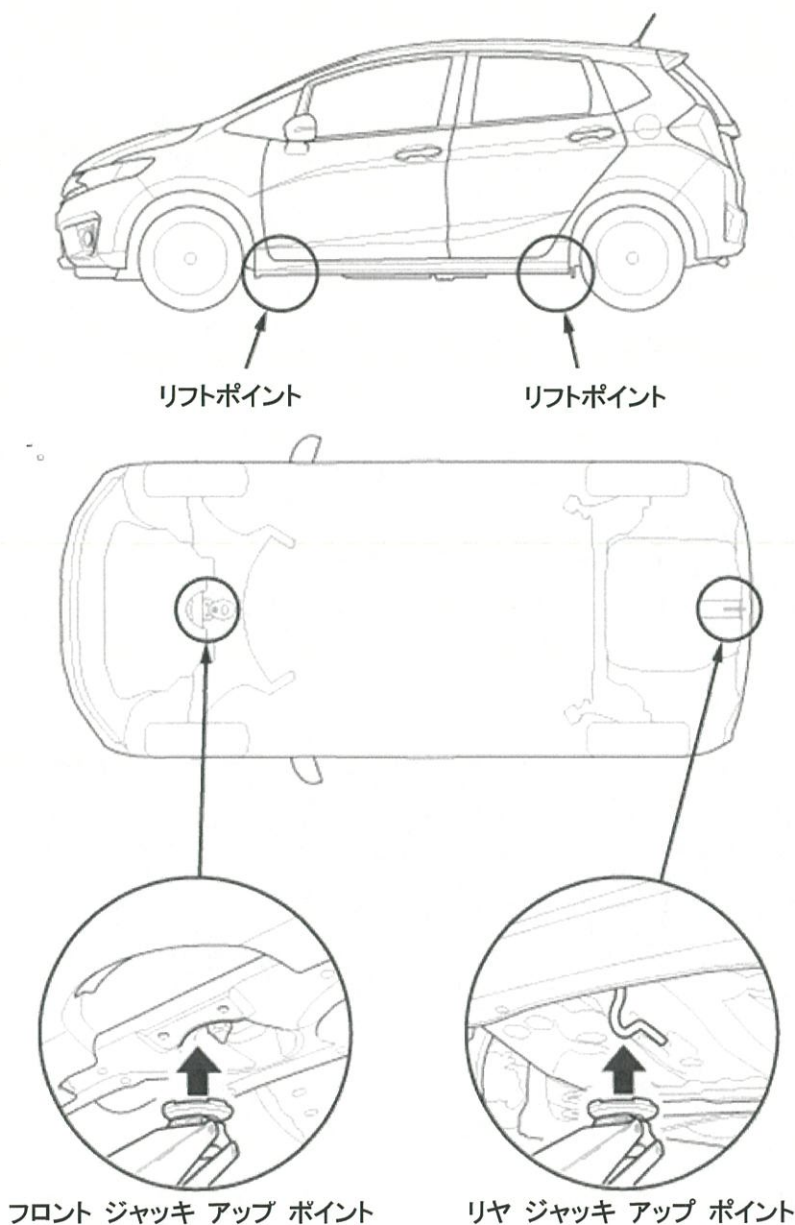
NO	構成部品 品名	QTY
①	51610-XMK -01S0 DAMPER ASSY,R FR	1
②	51620-XMK -01S0 DAMPER ASSY,L FR	1
③	52610-XMK -A0S0 DAMPER ASSY,RR	2
④	52441-XMK -0100 SPRING,RR	2
⑤	NUT,FRANGE 10MM	2
⑥	BOLT,FRANGE 14×57.3	4
⑦	NUT,SELF LOCK 14MM	4
⑧	BOLT,FRANGE 10×73	2
⑨	STICKER (CAUTION)	2

【必要工具】



【取付準備】

- ①各車輪のホイール ナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



⚠ 注意

- ・ 空車に近い状態で作業を行い、重量物を積載した状態では作業を行わないこと。
- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。
- ・ ジャッキアップした場合は、接地している車輪の前後両側に輪止めをすること。

【I. フロントダンパの車両への組み込み】

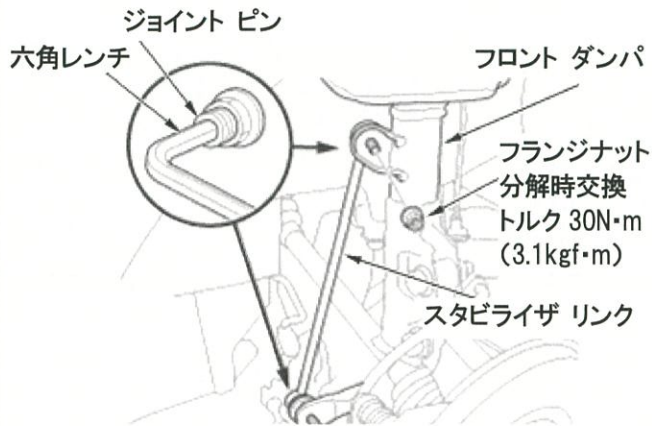
1. STDフロントダンパの取外し

①フロント ホイールを取外す。

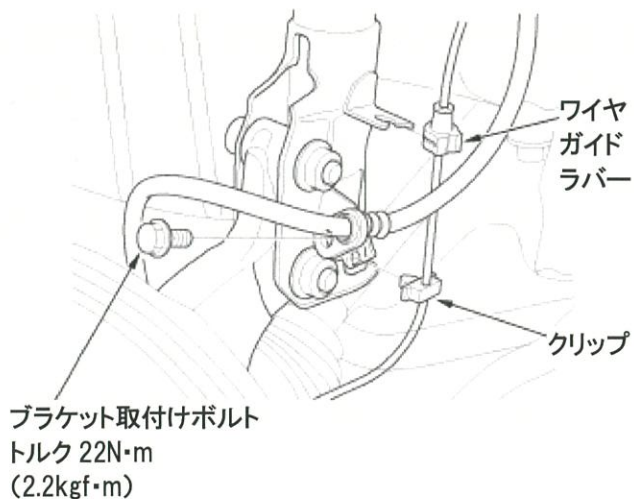
②スタビライザ リンクを取外す。

※ジョイント ピンを六角レンチで保持してフランジナットを緩めること。

※取り付け時、フランジナットは新品に交換する。



③ブレーキホース、ホイールセンサ ワイヤを取外す。
ブラケット取り付けボルトを取外す。
ホイールセンサのワイヤガイドラバーとクリップをダンパから取外す。



④フロント ダンパ 下部を切離す。
ダンパ取り付けボルトを外す。

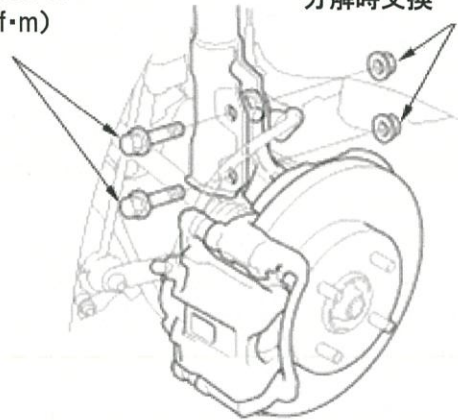
※ナックルを外側へ強く引くと、ドライブ シャフト インボート ジョイントのローラが抜けるので注意すること。

※取り付けの際は、ダンパ取り付けナットを保持し、ボルトを規定トルクで締め付けること。

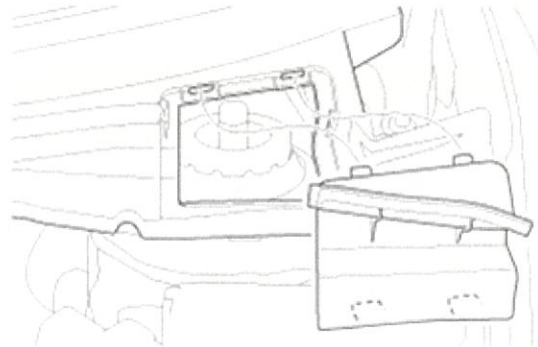
※取り付け時、ダンパ取り付けボルトとナットは新品に交換する。

ダンパ取り付けボルト
分解時交換
トルク 90N・m
(9.2kgf・m)

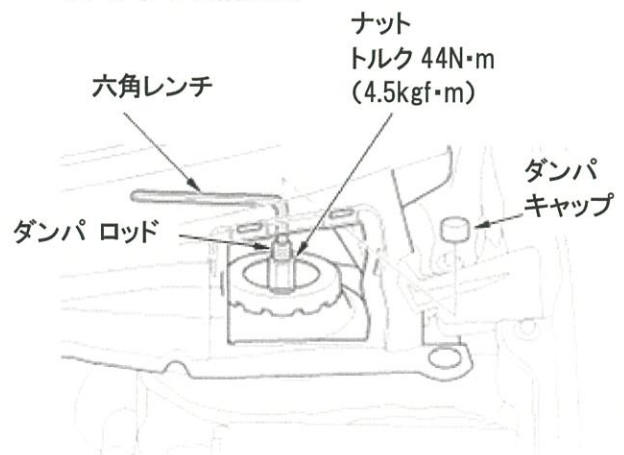
ダンパ取り付けナット
分解時交換



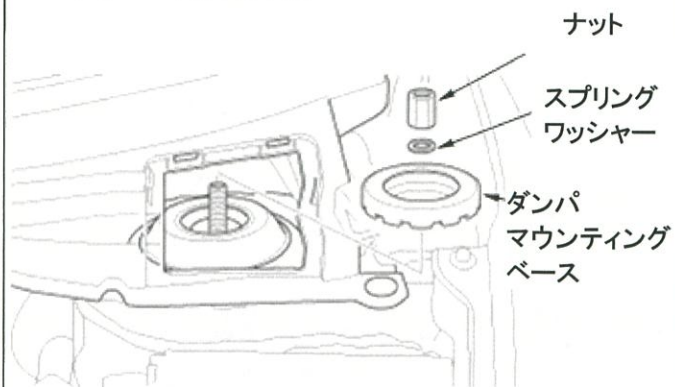
⑤ダンパメンテナンスリッドを取外す。



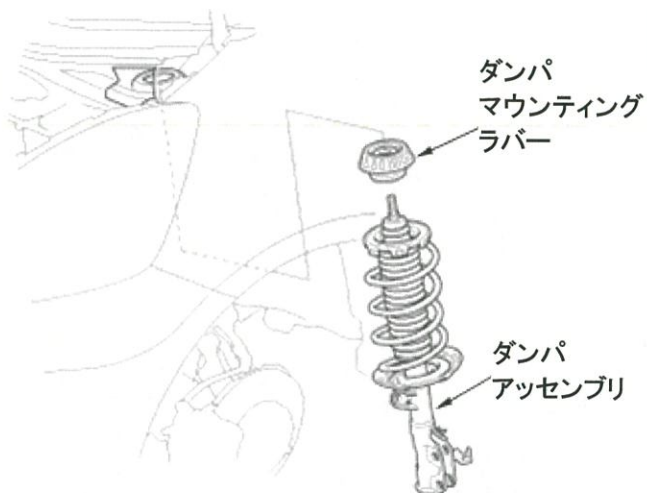
⑥フロント ダンパ上部を切離す。
ダンパキャップを取り外す。
六角レンチでダンパ上部のダンパロッドを保持し、ナットを緩める。



- ⑦ナット、スプリングワッシャーおよびマウンティングベースを取外す。



- ⑧フロント ダンパ を取外す。
ダンパ アセンブリを車体から取外す。
ダンパ マウンティング ラバーを取外す。



2. 無限フロントダンパの取付け

※ダンパ アセンブリの左右を確認し、取付けを始めること。

下記の項目に注意し、取外しの逆の手順で取付ける。

取付け時、ダンパ キャップをダンパのロッド部へ
確実に取付けること。取付け不良はロッド部に錆が
発生する恐れがある。

【Ⅱ. リヤダンパ・スプリングの車両への組み込み】

1. STDリヤダンパ・スプリングの取外し

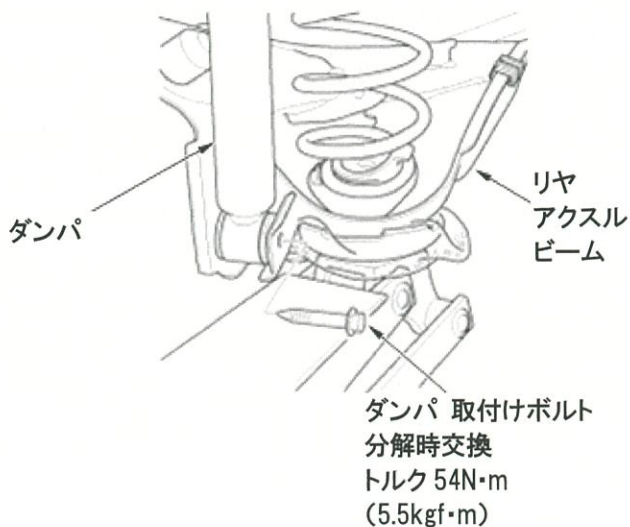
- ①リヤ ホイールを取外す。
- ②ヘッドライト レベリング センサ を取外す。
(ヘッドライト レベリング システム装着車)
- ③ホイール センサ ワイヤ ガイドラバーを取外す。



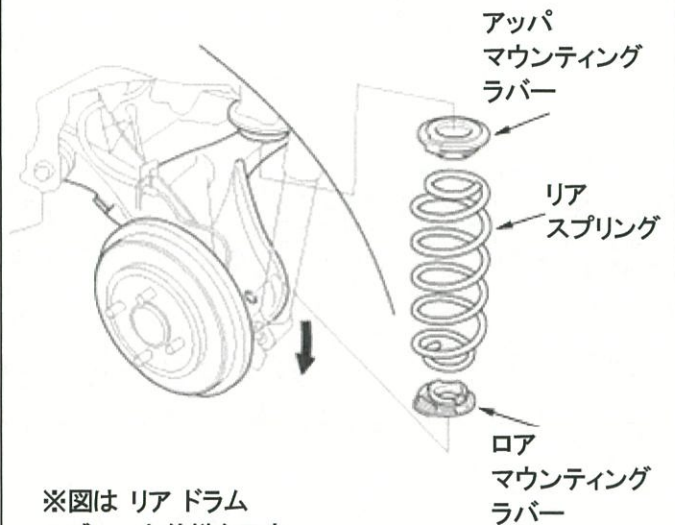
- ④リヤ ダンパ下部 を切り離す。
リヤ アクスルビームの下にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。
※リヤ アクスル ビームの中央(トーション ビーム)部にジャッキをかけないこと。
※スプリング ロア マウンティング ラバー下部の突起を傷つけないようにジャッキを当てること。

リヤ アクスルビーム左右からダンパの接続を外し、リヤアクスルビームを下げる。

※ホイール センサ コード、ブレーキホース、ブレーキ パイプの損傷を防ぐため、リヤ アクスルビームを下げすぎないこと。



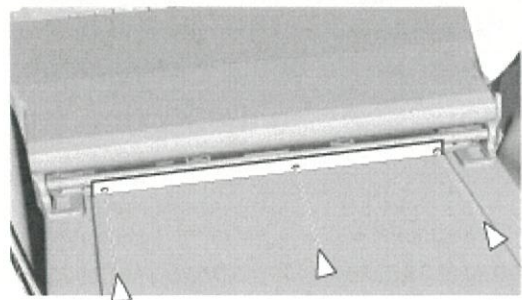
- ⑤リヤ スプリングを取外す。
スプリングからアッパ マウンティング ラバーとロア マウンティング ラバーを取外す。



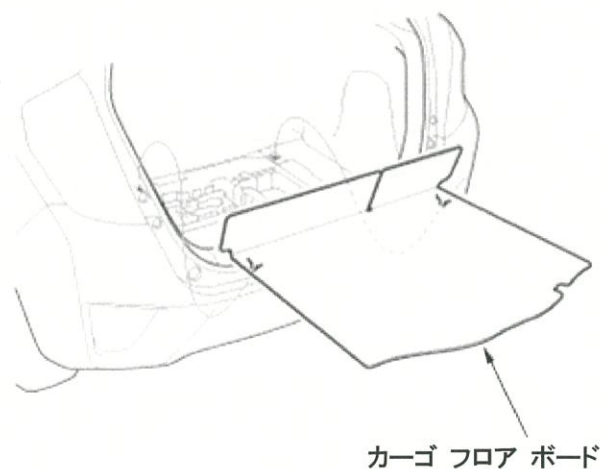
- ⑥リア パネル ライニングを取り外す。
シングル フォールドダウンシート: クリップを外す。



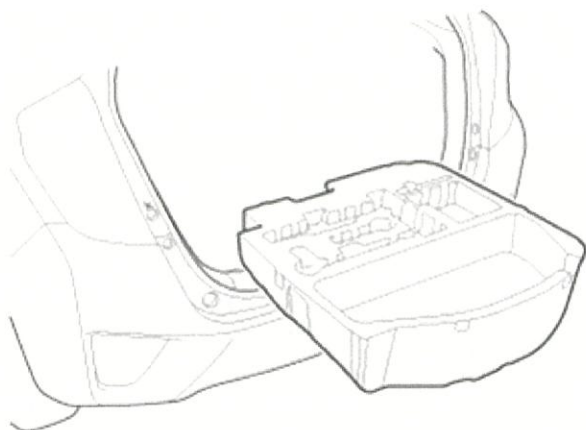
シングル フォールドダウンシート: クリップ×3



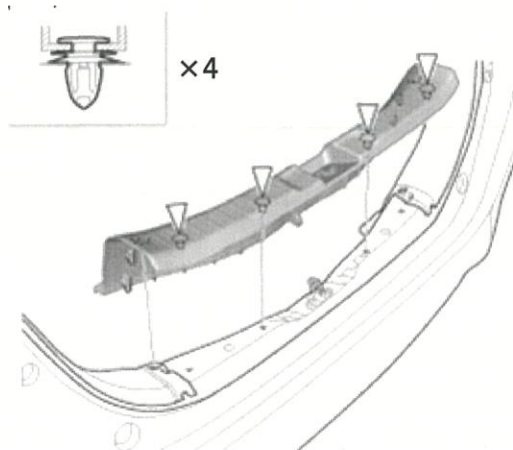
- ⑦カーゴ フロア ボードを取外す。



⑧カーゴ ツール ボックスを取外す。



⑨リヤ パネル ライニングを取外す。



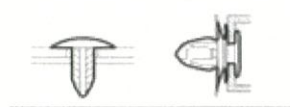
⑩カーゴ サイド ライニングを取外す。
リヤ ドア オープニング シールおよびテールゲート
ウェザーストリップを必要分外す。

カーゴ エリア ライト装着車：カプラの接続を
外す。

右側

A×1

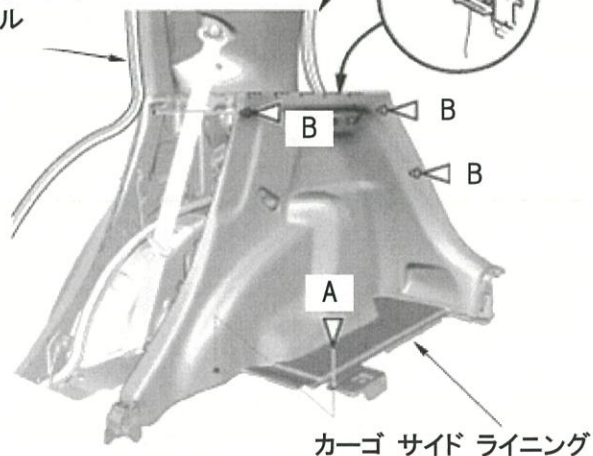
B×3



テールゲート
ウェザーストリップ

カプラ

リア ドア
オープニング
シール

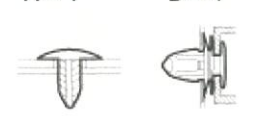


カーゴ サイド ライニング

左側

A×1

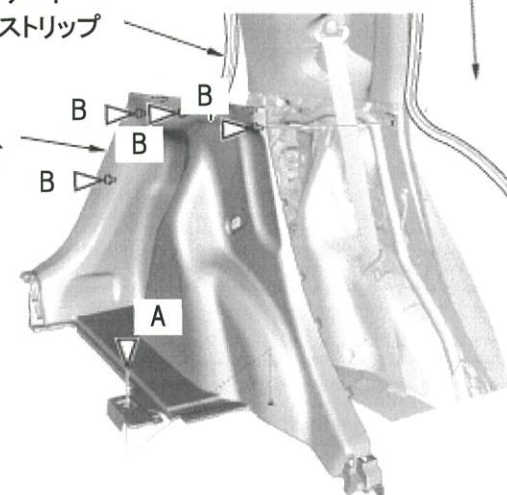
B×4



リア ドア
オープニング
シール

テールゲート
ウェザーストリップ

カーゴ
サイド
ライニング

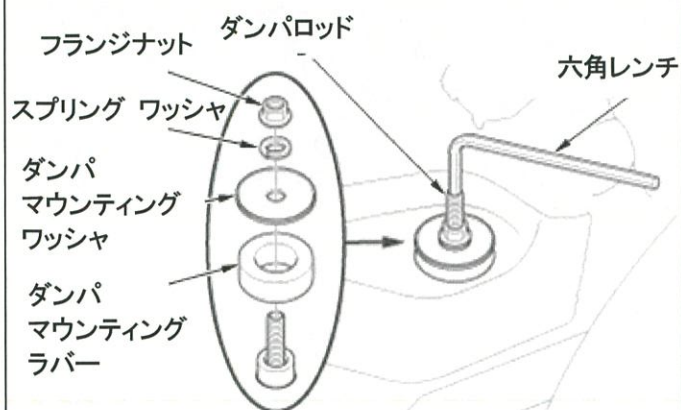


⑪ リヤ ダンパ上部を切り離す。

六角レンチでダンパ上部のダンパロッドを保持し、フランジナットを緩める。

※フランジナットを緩める際にインパクトレンチは絶対に使用しないで下さい。

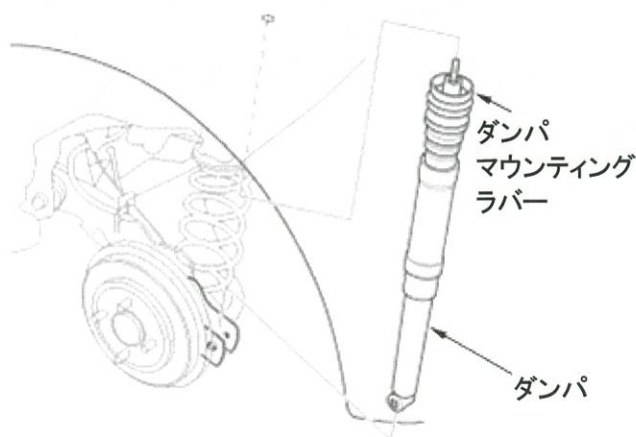
ダンパ上部のフランジナット、スプリングワッシャ、ダンパ マウンティング ワッシャおよびダンパ マウンティング ラバー取外す。



⑫ ダンパを取り外す。

ダンパ マウンティング ラバーを取外す。

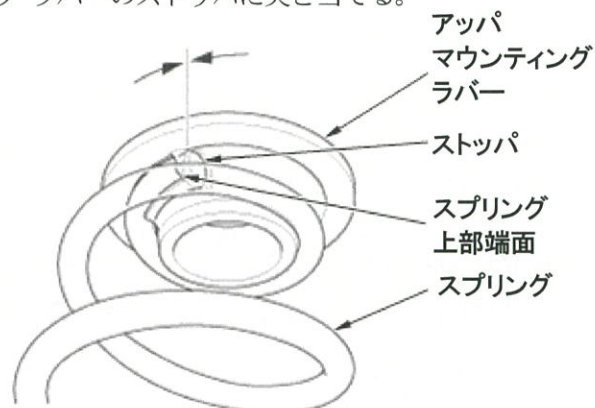
※ダンパを取外す際は、ダンパ脱落を防ぐため、ダンパ下部を持って外すこと。



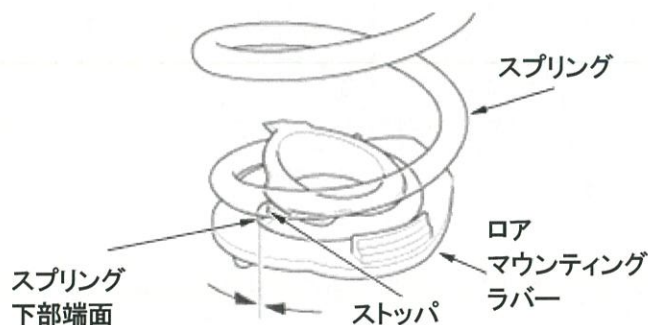
2. 無限リヤダンパ・スプリングの取付け

① リヤ スプリングを取り付ける。

スプリングにアッパ マウンティング ラバーを取付け、スプリング上部端面をアッパ マウンティング ラバーのストッパに突き当てる。



スプリングにロア マウンティング ラバーを取付け、スプリング下部端面をロア マウンティング ラバーのストッパに突き当てる。

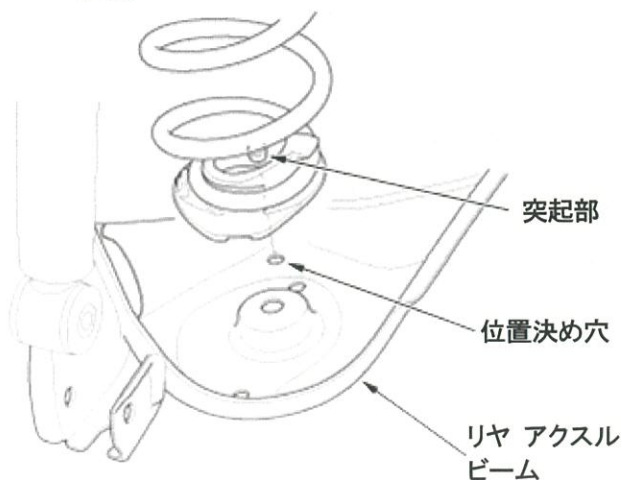


ロア マウンティング ラバーの突起部に石鹸水を塗布しロア スプリング シートの位置決め穴に合わせて取付ける。

※石鹸水は中性洗剤を水で50%に薄めた水溶液を用いる。

※リヤ アクスル ビームにロア マウンティング ラバーの突起が確実にはめ込まれていることを確認する。

※取付け後、ラバー、ストッパおよび他のゴム部分がスプリングにかみ込まれていないことを確認する。

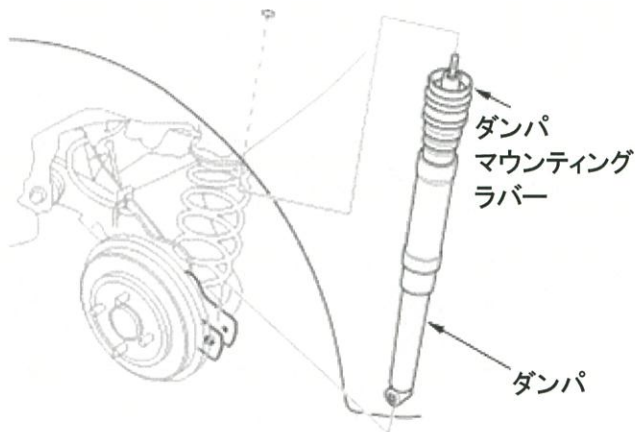


②リヤ ダンパを取付ける。

ダンパマウンティング ラバーを取付ける。

ダンパを取付ける。

※ダンパを取付ける際は、ダンパ脱落を防ぐため、ダンパ下部を持って取付けること。



③リヤ ダンパ下部を取付ける。

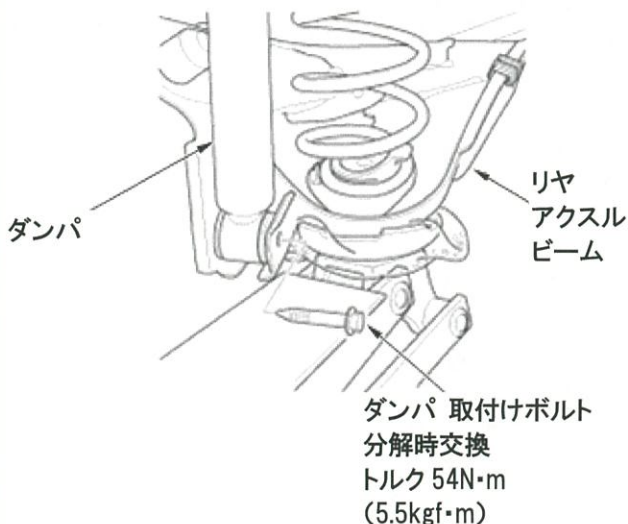
リヤアクスル ビームの下にウエスなどを介してジャッキを当て、サスペンションを支える。

※リヤ アクスル ビームの中央(トーションビーム)部にジャッキをかけないこと。

※スプリング ロア マウンティング ラバー下部の突起を傷付けないようにジャッキを当てること。

左右のダンパをリヤ アクスルビームに新品のダンパ取付けボルトで接続し、仮締めする。

ジャッキでサスペンションを持ち上げて車重をかけ、ダンパ取付けボルトを規定トルクで締め付ける。



④ホイールセンサ ワイヤガイドラバーを取付ける。

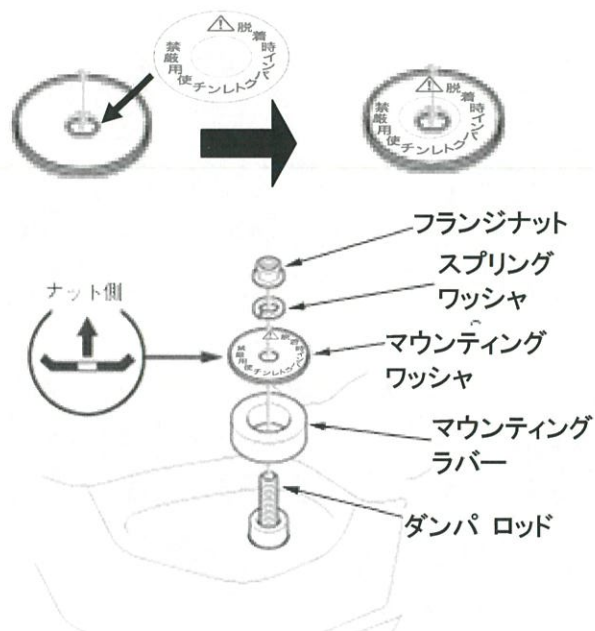


⑤リヤ ダンパ上部を取付ける。

ジャッキでサスペンションを持ち上げて車重をかけ、室内側からダンパ ロッドにダンパマウンティング ラバー、ダンパマウンティング ワッシャ、スプリング ワッシャおよびフランジナットを取付ける。

※ワッシャは取付け方向に注意する。

※マウンティング ワッシャを脱脂し、付属のステッカーを貼付する。(左×1 右×1)



六角レンチでダンパ ロッドを固定してフランジナットを規定トルクで締め付ける。

※フランジナットを締め付ける際にインパクトレンチは絶対に使用しないで下さい。



⑥カーゴ サイド ライニング、リヤ パネル ライニングを取付ける。P6、7を参照し、取外しとは逆の手順で組み付ける。

【Ⅲ. 組込み後の注意】

車体の着地

- ①各部を点検し、ホイールを取付ける。
- ②車体を着地させ、ホイール ナットを規定トルクで締め付ける。
※ホイール ナット トルク 108N・m (11.0kgf・m)
※本製品組み込み後は、STDサスペンション組込み時よりも車高が下がるので、ジャッキをおろす際は、十分注意すること。
- ③ホイール アライメントを点検し、必要な場合は調整をする。
- ④ディスチャージ ヘッドライト装備車は、ヘッドライトの初期位置学習を行う。

参考 アライメント基準値

	キャンバー	キャスター	トータルトー(mm)
前輪	0° 00' ±1°	4° 55' ±1°	0 ±3
後輪	- 1° 30' ±1°		2 ⁺⁴ ₋₂

⚠ 使用上の注意

- ・取り付け直後は極端な悪路での走行や急激な運転操作をさせて慣らし運転をし、異音やガタつきがないことを確認してください。(100～300kmを目安に一般道で慣らし走行することで各部を馴染ませ、より安定した性能を維持することができます。)
- ・定期的にボルト、ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。
- ・本製品は純正品に比べスポーツ走行を意識したセッティングの為下記のような音が出る場合がありますが異常ではありません。
 ゴムがこすれるような「ギュッ、ギュッ」音…本製品はローダウン設計の為、リヤスプリングの線間密着音を防止する為のラバーチューブがスプリングに巻いてあります。走行時このゴム同士がこすれる事で音が出る場合がありますが仕様上のものであり、異常ではありません。
 ダンパの作動音「シュッ」または「コトッ」音…本製品は純正品に比べ減衰力を高く設定している為ダンパの作動音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
- ・経年変化等によりサスペンションキットの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等して下さい。
※本製品は非分解式のためオーバーホールを行う事はできません。

- ・本製品は補修用として、ダンパ A S S Y 単位での購入が可能です。お買い求めの際はお近くのホンダ ディーラーもしくは無限製品取扱店にご相談下さい。
- ・商品の管理には万全を期しておりますが、万が一問題が発生した場合は下記にご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121 【営業時間 10:00～17:00 (土日・祝日は除く)】